

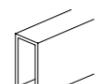
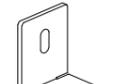
- このたびは、『デッキシステム』をご採用いただきましてありがとうございます。
- 商品の組み立ておよび施工には、この施工マニュアルをお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。

### ■ 施工上の注意

- 施工前に部材・部品の寸法・数量を確認してください。
  - 躯体やサッシ枠より10mm以上離して施工してください。
  - インパクトドライバーをご使用の際は、ネジの締めすぎに十分ご注意ください。
  - 『NEXTウッド』の「固定金具」をご使用の場合は、必ず細軸タイプ（軸径4.5mm以下）のドライバービット（2番）をご用意ください。
  - デッキ材（SKG-ND、SKG-NDL）を長手方向に連結する場合は千鳥張り（馬目地）で施工してください。
  - 接着剤の接着面がコンクリート仕上げやウレタン防水工法、FRP防水工法となっているか確認の上、施工をしてください。シート防水に対しては、シート剥がれの原因となるため施工しないでください。
- 必ず弊社指定の寸法範囲内で施工してください。
  - 溶剤による塗装、接着による固定は行わないでください。
  - 壁への立て掛けでの保管は絶対に行わないでください。
  - オプション部材「幕板」を施工した場合、幕板には過度な荷重をかけないでください。  
※蹴込み板など荷重が掛かる用途で使用する場合は、必ず別途部材を発注し補強してください。

### 1. 部材の確認

#### ■ 下地材

品名	アルミ根太	広幅アルミ根太	アジャスター	アルミ桁	桁取付金具	桁取付金具取付ねじ
姿図						
	[サイズ] 45×35	[サイズ] 45×55	[サイズ] 90×55	[サイズ] 20×40		なべドリルねじφ4×16

### 2. 使用工具の確認

使用する工具の確認をしてください。

#### <主な使用工具>

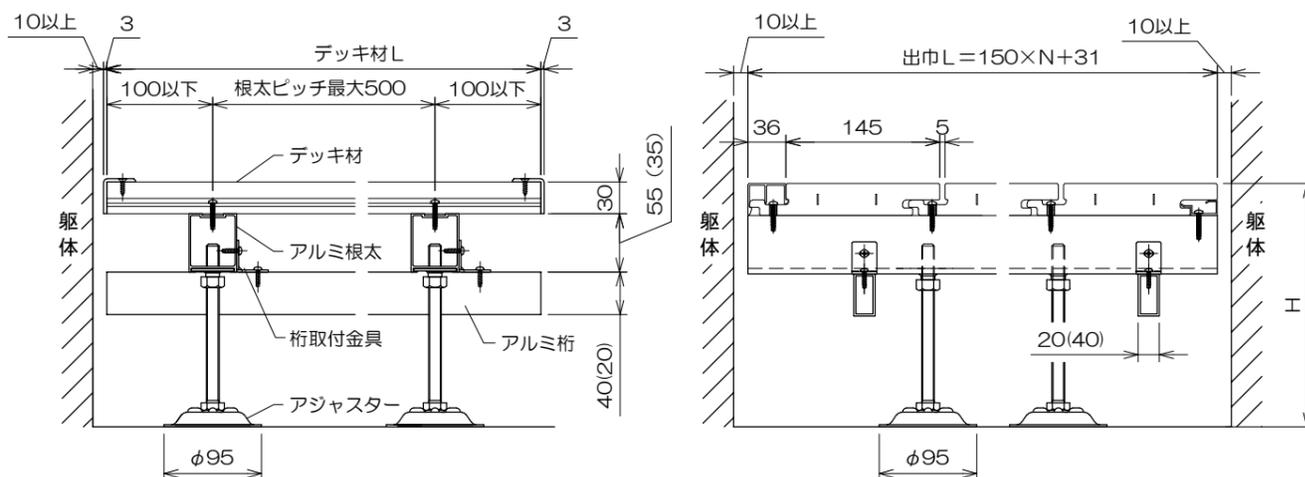
- ・インパクトドライバー
- ・ジグソー
- ・スケール
- ・水平器 (L1200、600)
- ・振動ドリル
- ・集塵機
- ・ドリルビット
- ・ドライバー(+/-)
- ・スライド丸鋸
- ・ハンマー
- ・レザーソー
- ・コーキングガン
- ・卓上丸鋸
- ・パール
- ・延長コード
- 等

#### 注意

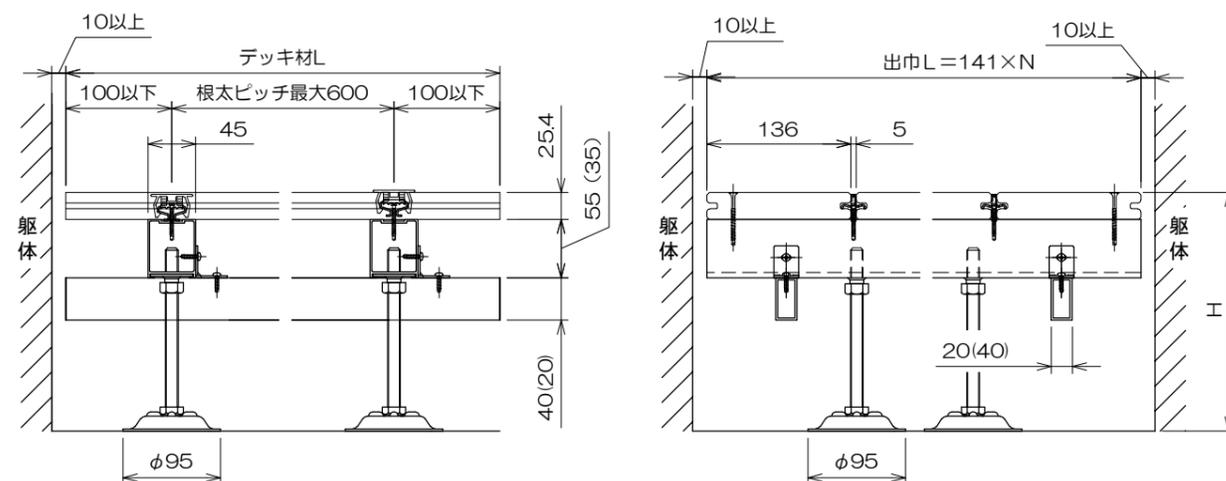
- 『NEXTウッド』の「固定金具」をご使用の場合は、必ず細軸タイプ（軸径φ4.5以下）のドライバービット（2番）を使用して施工してください。

### 3. 参考納まり図

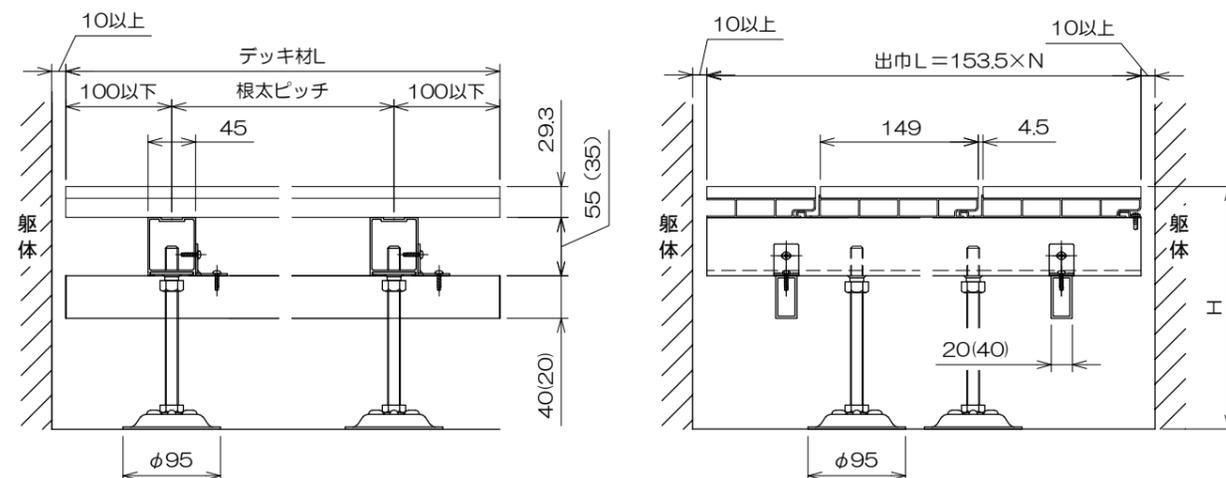
#### 合成木材デッキ (SKG-ND、SKG-NDL)



#### NEXTウッド (SKG-XD)



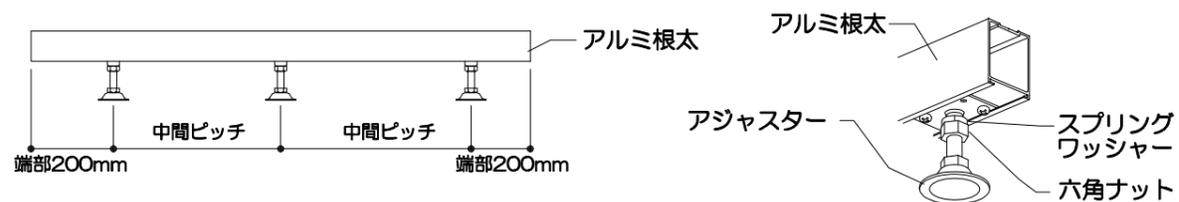
#### 選べるデッキ (ED\*\*)



## 4. 下地の施工

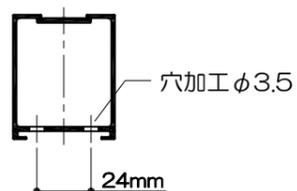
### 1 アジャスターのセット

• アルミ根太に「アジャスター」をセットしてください。



• アジャスター位置を変える場合は次のピッチを守ってください。

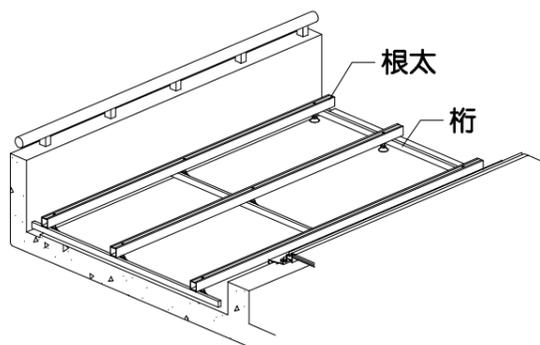
- 端部 : 200mm以下
- 中間ピッチ : 900mm以下
- ※ 穴加工は右図を参照してください。



### 2 根太・桁の仮置き

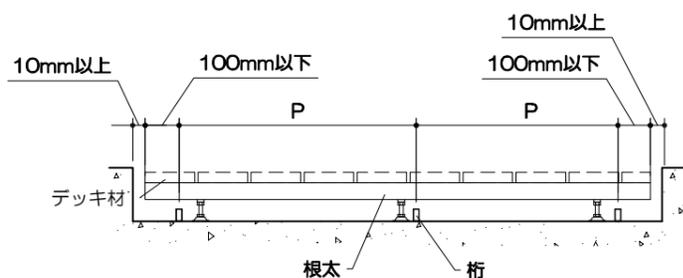
• 桁→根太の順に仮置きしてください。

根太の種類	桁の向き
SKS-36B	横向き
SKS-55B	
SKS-73B	縦向き
SKS-113B	
SKS-153B	



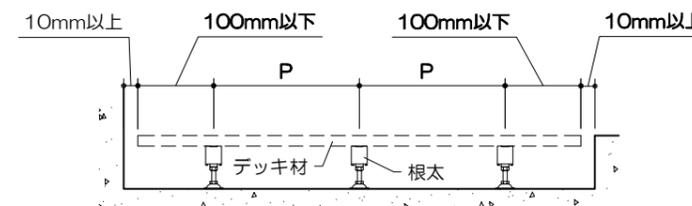
#### <桁ピッチ>

- 桁ピッチ : 1000mm以下



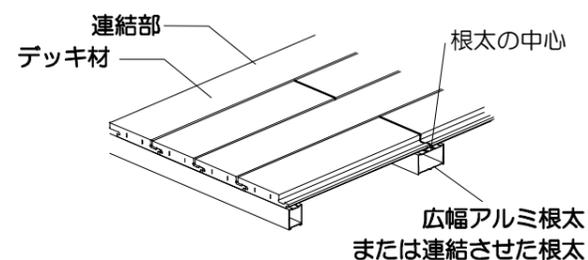
#### <根太ピッチ>

- ピッチ450mm以下
  - 選べるデッキ : セラミック (EDC1)
- ピッチ500mm以下
  - 合成木材デッキ (SKG-ND、SKG-NDL)
- ピッチ600mm以下
  - NEXTウッド (SKG-XD)
  - 選べるデッキ : 竹 (EDB\*)
  - 選べるデッキ : 人工木 (EDW1)



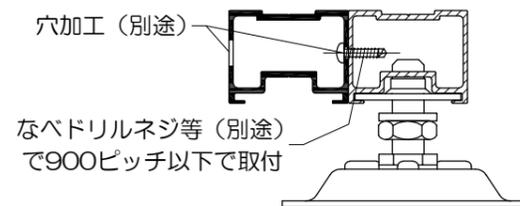
#### <デッキ材の連結部>

- デッキ材を長手方向に連結する場合は、下図のように連結部に「広幅アルミ根太」、または「連結させた根太」を設置してください。
- デッキ材の連結部は根太の中心にしてください。



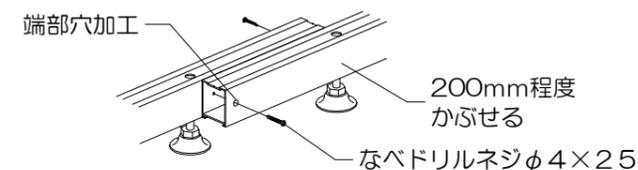
#### POINT

使用する根太がSKS-36B、55Bの場合はあらかじめ根太同士を連結させてください。



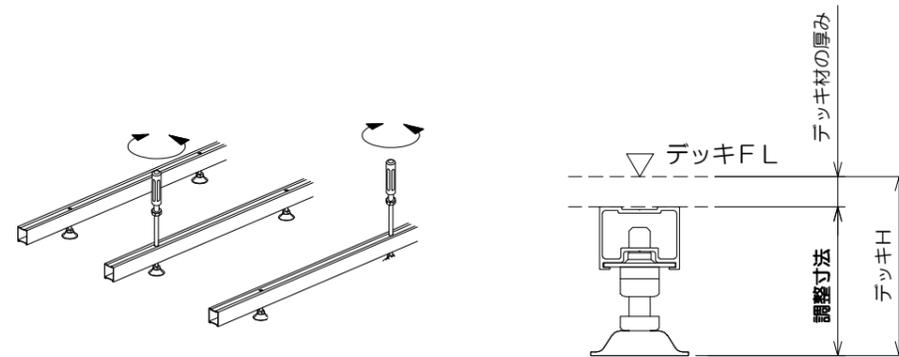
#### <根太の連結>

- アルミ根太の端部を200mmかぶせて、付属のネジにて固定してください。
- ※広幅アルミ根太の場合は、突合せで施工してください。



### 3 高さ調整

• デッキのFLを決定し、ドライバーにて各アジャスターの高さを調整してください。



<H調整範囲>		合成木材デッキ	NEXTウッド	選べるデッキ
36	SKS-36B	86 ≤ H < 110	82 ≤ H < 106	85 ≤ H < 109
	SKS-55B	106 ≤ H < 130	102 ≤ H < 126	105 ≤ H < 129
55	SKS-73B	126 ≤ H < 174	122 ≤ H < 170	125 ≤ H < 173
	SKS-113B	164 ≤ H < 214	160 ≤ H < 209	163 ≤ H < 213
	SKS-153B	204 ≤ H < 254	200 ≤ H < 250	203 ≤ H < 253

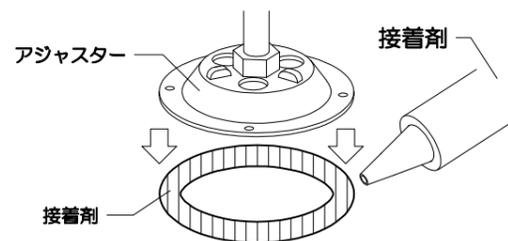
### 4 根太の固定

• デッキ材の浮き上がり防止の為、アジャスターの裏面に接着剤を塗布し固定してください。

#### 推奨ボンド

セメダイン製PM165-R  
(1液型エポキシ変成シリコン樹脂)

※333ml (1本) で、約30個のアジャスターを固定可能  
※別途、コーキングガンが必要です。

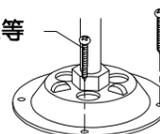


#### 注意

- 接着前に接着面の汚れ (ゴミ、砂、ホコリなど) を取り除いてください。
- 必ず接着剤の硬化時間を守ってください。【夏場】6時間以上【冬場】1日以上  
※硬化前にデッキ材を取付けしないでください。デッキ材の浮き上がりを抑えられません。
- 必ず全てのアジャスターを接着剤にて固定して下さい。

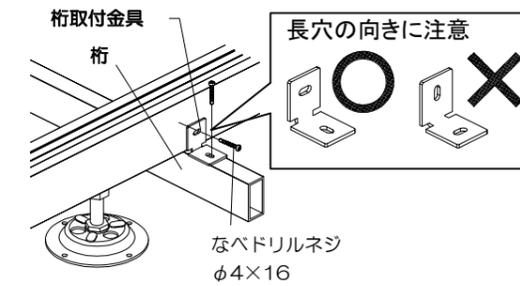
※ビス固定が可能な現場に関しては、φ5×35以上の  
コンクリートビス等にて、床面に2ヶ所以上固定して下さい。

コンクリートビス等



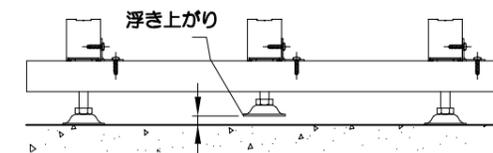
### 5 桁の取付け

• 桁を「桁取付金具」で根太に固定してください。



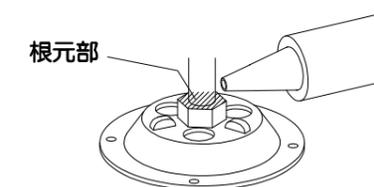
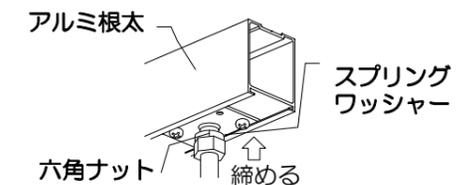
#### 注意

• 高さ調整が十分でないと、桁の取付時にアジャスターが浮く場合があります。



### 6 アジャスターの固定

• 最後に高さ調整の緩み止めの六角ナットをしっかりと締めて下さい。  
また、アジャスターの音鳴り対策として、アジャスターのボルト根元に接着剤を塗布してください。



デッキ材の施工は、各デッキ材の施工マニュアルをご覧ください。▶▶  
※選べるデッキの施工マニュアルは、アルミベースに同梱されています。

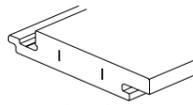
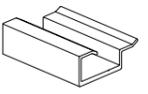
- このたびは、『合成木材デッキ』をご採用いただきましてありがとうございます。
- 商品の組み立ておよび施工には、この施工マニュアルをお読みにになり、正しく美しく仕上げてください。

## ■ 施工上の注意

⚠	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 施工前に部材・部品の寸法・数量を確認してください。</li> <li>● 躯体やサッシ枠より10mm以上離して施工してください。</li> <li>● インパクトドライバーをご使用の際は、ネジの締めすぎに十分ご注意ください。</li> <li>● デッキ材 (SKG-ND、SKG-NDL) を長手方向に連結する場合は千鳥張り (馬目地) で施工してください。</li> </ul>
🚫	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 必ず弊社指定の寸法範囲内で施工してください。</li> <li>● 溶剤による塗装、接着による固定は行わないでください。</li> <li>● 壁への立て掛けでの保管は絶対に行わないでください。</li> <li>● オプション部材「幕板」を施工した場合、幕板には過度な荷重をかけないでください。 ※蹴込み板など荷重が掛かる用途で使用する場合は、必ず別途部材を発注し補強してください。</li> </ul>

## 1. 部材の確認

### ● 標準デッキ (SKG-ND、SKG-NDL)

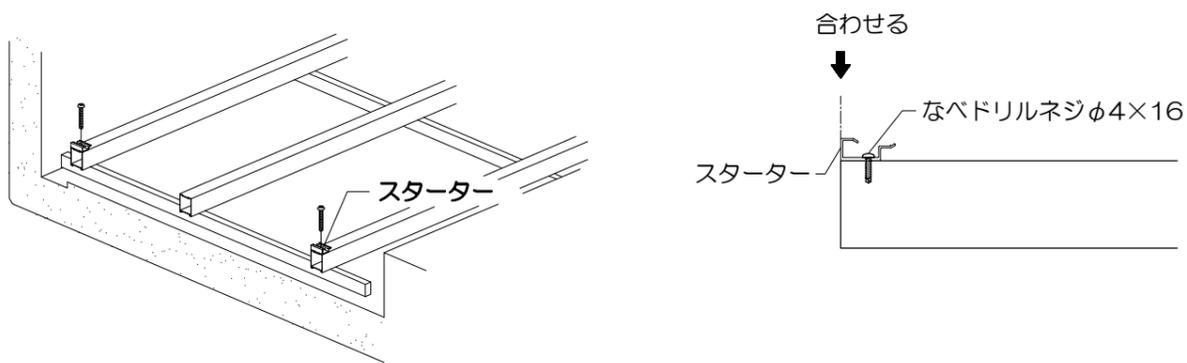
品名	デッキ材	取付ネジ	スターター	5mmスペーサー
姿図	 [サイズ] 145X30	 なべドリルねじφ4X25		 デッキ材目地5mm調整用

## 2. デッキ材の施工

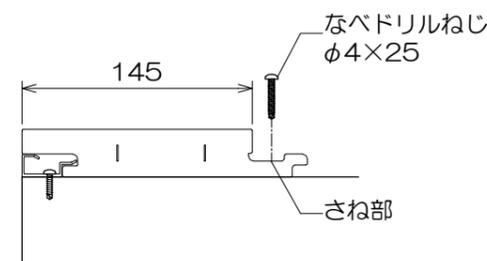
### ラティスフェンス取付の場合

- 別売りの「ラティスフェンス」「デッキフェンス」を施工の場合は、別途下地の補強が必要になります。詳しくはフェンス付属の取付説明書をご確認ください。

- デッキ貼り始めの位置決め用に「スターター」を取付けます。

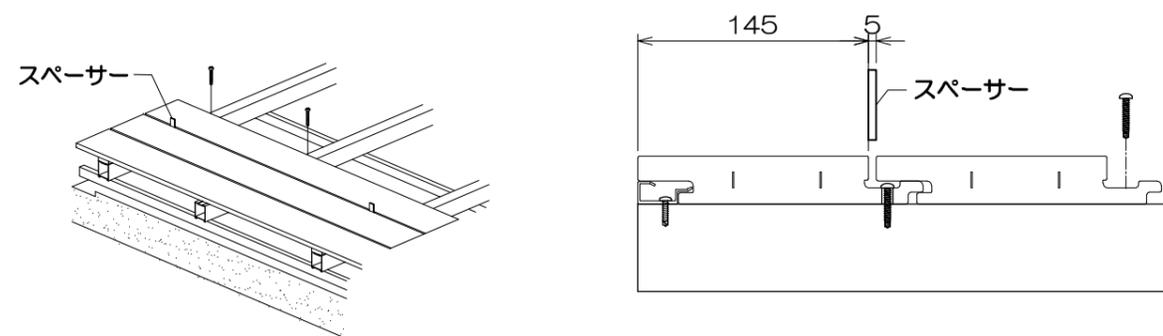


- 下図のように「スターター」にデッキ材を突き当てて設置し、さね部から根太や大引きにネジで固定してください。



※「さね部」にあらかじめ加工されている水抜き穴にはネジを打たないでください。

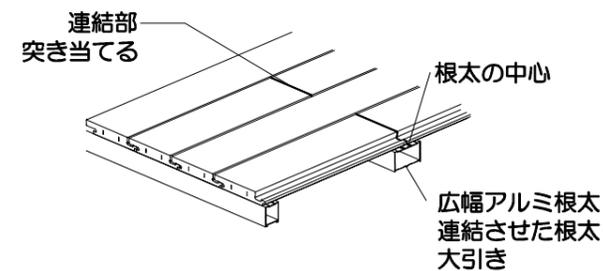
- 付属のスペーサーを利用してデッキ材の間隔を5mmずつ空け、ジョイントしながら貼っていきます。



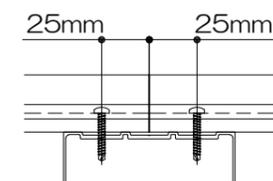
- ※ 躯体の凹凸に併せて、必要に応じて丸鋸、ジグソー等でデッキ材を加工してください。
- ※ 躯体との直角を確認しながら施工してください。

### 注意

- デッキ材を長手方向に連結させる場合は、下図のように千鳥張りにしてください。
- デッキ材の長手方向の突合せ部は、隙間が無い様に突き当てて施工してください。

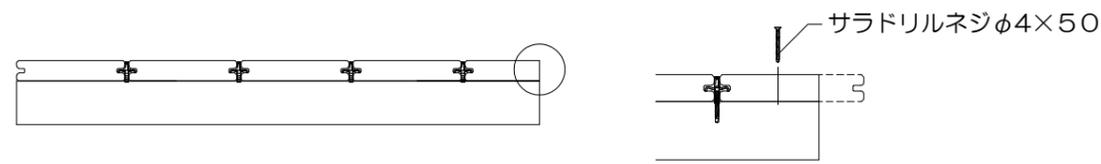


- ネジ止めは、デッキ材端部から25mm以上で行ってください。



### 貼り終わりのサイズが合わない場合

- 貼り終わりのデッキを大引きの端部に合わせて縦裂きしてください。
- デッキ材表面からサラドリルネジφ4×50で直接打ち込んで固定して下さい。  
※デッキ材には必ず下穴(φ4.5)を空けてください。



#### POINT

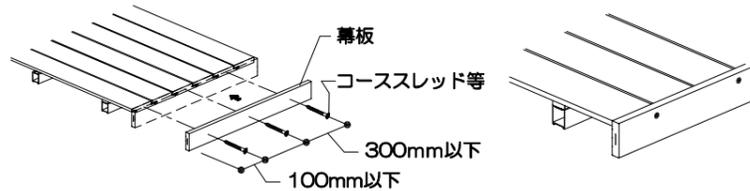
デッキを縦裂きする場合、ジグソー(刃:新建材PC仕上用)、又は丸鋸(刃:集成材用)に潤滑スプレー(シリコン系スプレー等)を吹付け、刃を傾けて切断してください。

## 3. 幕板の施工

### レギュラータイプ下地の場合

#### <幕板> 【サイズ】25×100

- 木口面の仕上げ用としての部材です。



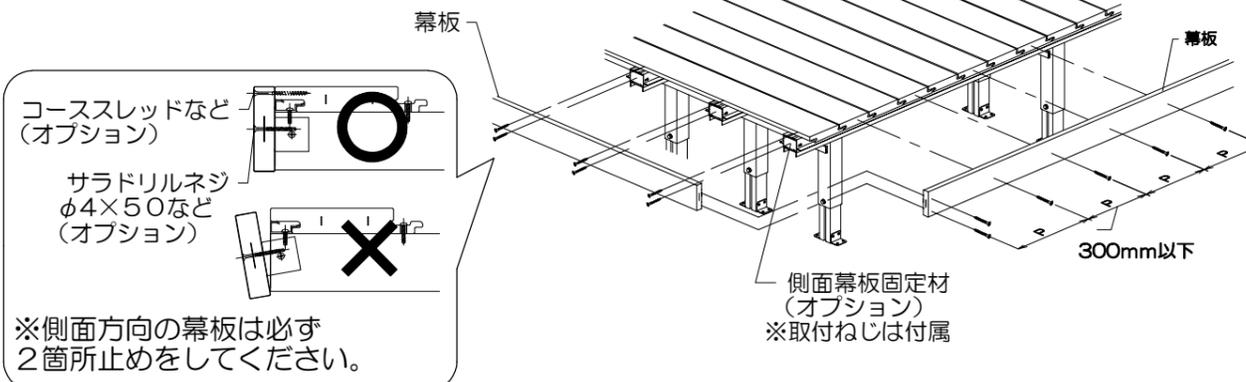
- ※取付けネジは別手配になります。
- ※取付け時にはあらかじめ下穴を空けて下さい。

### 高床タイプ下地の場合

#### <幕板> 【サイズ】25×100

- デッキ材の木口面や大引きを隠す仕上げ用部材です。

- ※取付けネジは別手配になります。
- ※取付け時にはあらかじめ下穴を空けて下さい。

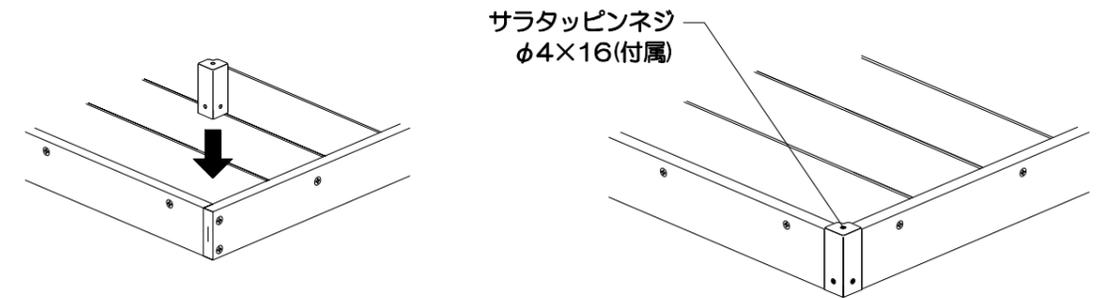


- ※側面方向の幕板は必ず2箇所止めをしてください。

## 4. オプション部材の施工

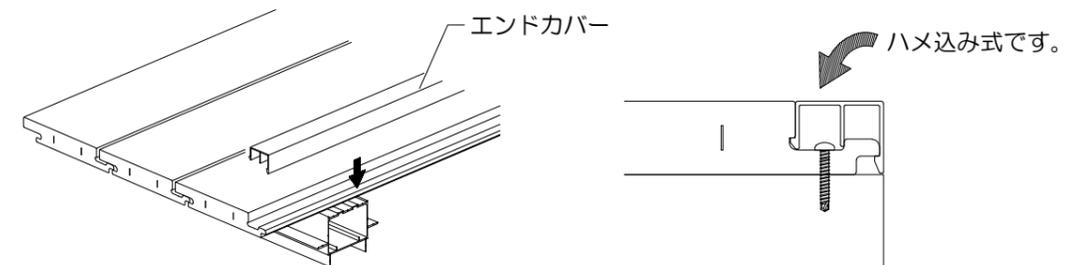
### <幕板コーナーカバー>

- 幕板の出隅部の仕上げ用として使用します。



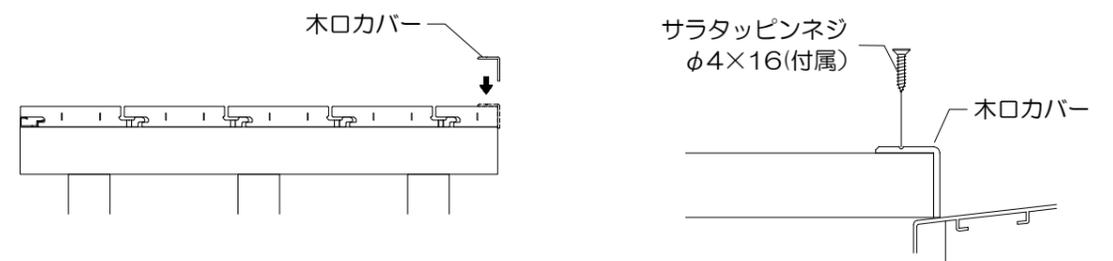
### <エンドカバー>

- デッキ貼り終わり端部のビス隠し用の部材です。



### <木口カバー>

- デッキを縦裂きした場合の木口処理や隙間などの見切り用として使用します。



### <木口カバーキャップ>

- 木口カバー連結部の仕上げ用部材です。

